



## コロナ禍だからできた もう迷わない！ 色別カテゴリ表示で新たな診療材料管理

～看護部と物品管理センターの協働～

国民健康保険 小松市民病院

## 国民健康保険 小松市民病院

共に歩む



所在地	石川県小松市
病床数	340床
職員数	573名 (2022年8月31日現在)
看護職員数	307名
入院基本料	入院基本料1(2022年8月31日現在)

COVID19の拡大による**病棟の再編成・職員の配置転換**により、**病棟間でのスタッフ移動が増加**

診療材料棚の表示がわかりづらく、応援先の看護師に尋ねるなど、材料を探すのに時間がかかっており、**非効率であった**



ラベル表記が一般名称や商品名であり、物品によって看護師には分かりにくい…



表示が白色のみで、分かりにくい



どこに何があるのか分からず、引き出しを何ヶ所も開けて探さないと見つけることができない

▼改善前の診療材料棚



**病棟の診療材料の表示・配置を標準化し**

**診療材料を探す時間を短縮する**



1 | 院内の診療材料配置場所を把握・可視化する

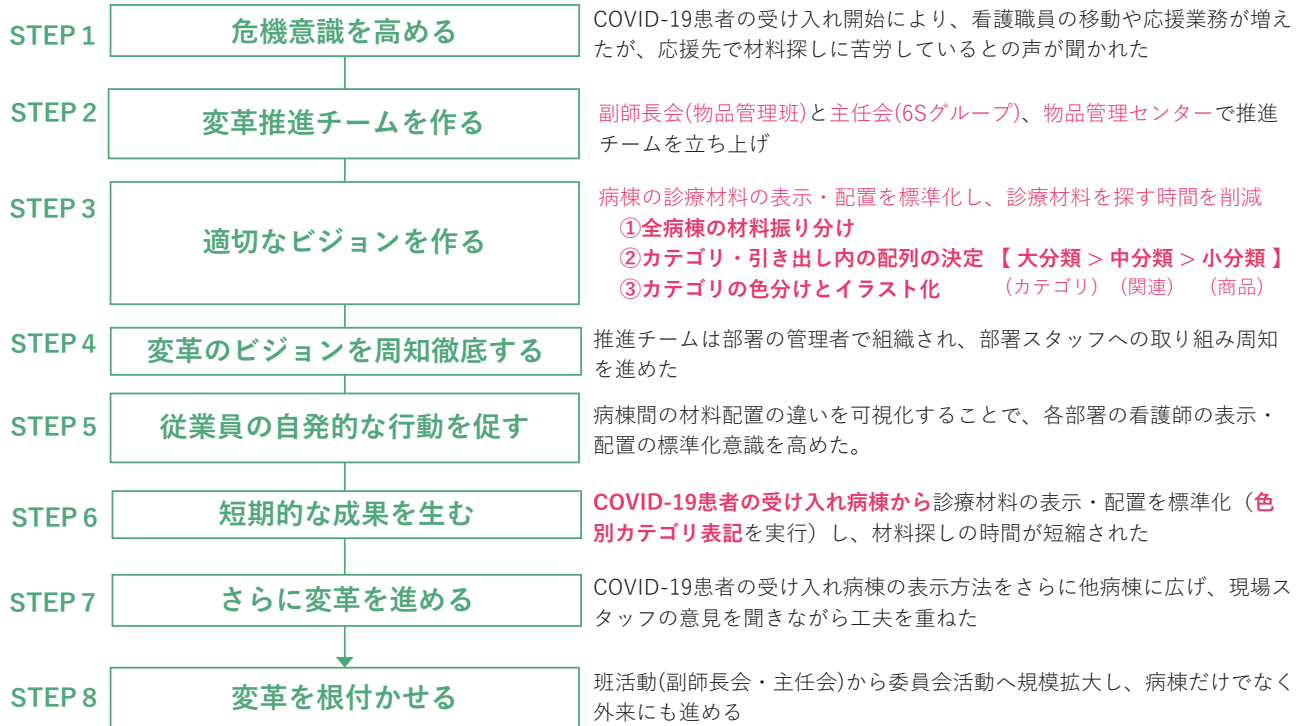
2 | 見やすい・わかりやすい表記を作成する

# 1 診療材料の表示・配置の標準化

○「**コッターの変革理論**」を応用し、8段階に分けて取り組みを実施

\*参考文献：倉岡有美子(2018)「看護現場を変えるコッターの企業変革の看護への応用」医学書院

2020年3月



## 取り組み内容

### 1 全病棟の材料振り分け

病棟ごとに同じ診療材料でもミキシング材料室/処置材料室の配置が異なっていた

物品管理センターが

○2部屋の材料のバラつき状況を**色分けし、可視化**

看護師が

○材料を配置する場所の振り分けを決定するための**基準**を設置

#### 振り分け基準例

血液に関する検体材料 → ミキシング材料室  
血液以外の検体材料(便・痰) → 処置材料室  
etc...

#### ▼振り分け前 ■ミキシング材料室 ■処置材料室

材料CD	材料名	規格	カテゴリ	本館3病棟	本館5病棟	本館6病棟	本館7病棟	本館8病棟
xxxxx	Gセンサー 30枚入(50箱)★	小型血糖測定器用電	血糖測定					B02
xxxxx	ペンノード®プラス★	32G×4mm 14本×	血糖測定			B02		A09
xxxxx	メディセーフティタッチ イスダ 30G/0.8mm/ピック 30本入	30G/0.8mm/ピック 30	血糖測定	A10	A07	B02	A09	B02
xxxxx	メディセーフティチップ (新タイプ)★	血糖測定チップ/30	血糖測定	A10	A07	B02	A09	B02

◀血糖測定関連でも部署によりおいてある部屋が違う

#### ▼振り分け後

材料CD	材料名	規格	カテゴリ	配置場所	本館3病棟	本館5病棟	本館6病棟	本館7病棟	本館8病棟
xxxxx	Gセンサー 30枚入(50箱)★	小型血糖測定器用電	血糖測定	ミキシング					A09
xxxxx	ペンノード®プラス★	32G×4mm 14本×	血糖測定	ミキシング					A09
xxxxx	メディセーフティタッチ イスダ 30G/0.8mm/ピック 30本入	30G/0.8mm/ピック 30	血糖測定	ミキシング	A09	A06	A07	A09	A09
xxxxx	メディセーフティチップ (新タイプ)★	血糖測定チップ/30	血糖測定	ミキシング	A09	A06	A07	A09	A09

▲配置場所を決定し、全部署統一した

## 2 | カテゴリ・引き出し内の配列の決定

材料を分析し

○ 大分類(カテゴリ) > 中分類(関連) > 小分類(商品)を定める

### ▼取り組み前

棚番	材料名	規格	大分類
B01	動脈血サフラー(PICO針) 22G×32mm J956-C	22G×32mm	検査・採血用器材
B01	動脈血サフラー(safePICO) 針無 1.5mL 956-610J	針無 1.5mL	検査・採血用器材
B01	カブツ針 22G×70mm NN-2270C(100本)	22G×70mm	注射・輸液
B01	ディスポ針 30mL用 ティップ/緑色 (25本)	30mL用 ティップ/緑色	注射・輸液
B01	スプアタイプ №120P 40×120mm(11°) 27×15×9mm	40×120mm(11°) 27×15×9mm	被覆材
B02	シリレット・スーパースト 30G/30本入(8箱)★	30G/30本入	検査・採血用器材
B02	グライドファイナック イスチン 30G/0.8mm/ピコック 30本入	30G/0.8mm/ピコック 30本入	検査・採血用器材
B02	グライドファイナック (新設計)★	血糖測定チップ/30個入	検査・採血用器材
B02	グライド針(ファイナック専用)★	採血穿刺針/30本入	検査・採血用器材
B02	ファイナックリセッサ 30枚入 23196(12個)★	30枚入	検査・採血用器材
B03	スナップローテ 心電図用電極 40mm/グリッドゲル/フォー	40mm/グリッドゲル/フォー/50個	検査・採血用器材
B03	ピットロート(胸部用) 25×45mm/1000mm 6個/袋	25×45mm/1000mm 6個/袋	検査・採血用器材
B03	ピットロート(四肢用) 25×45mm/1000mm 4個/袋	25×45mm/1000mm 4個/袋	検査・採血用器材

「検査・採血」カテゴリの材料が3段の引き出しにバラついている【棚番：B01 / B02/B03】

「注射・輸液」「被覆材」といったカテゴリの材料が同じ引き出しに配置されている

### ▼取り組み後

棚番	材料名	大分類	中分類	小分類(テプラ)
B01	BBLカルチャースワブEZ(100本)	検査・採血用器材	便・痰(尿)検査	培養スワブ
B01	S採便容器TP-A 1本入 G-PZ31(100袋)★	検査・採血用器材	便・痰(尿)検査	便潜血容器(便培容器)
B02	エントレス(モニター用記録紙) FQW50-2-100(10冊)	診断・造影用器材	心電計	心電図記録用紙
B02	エントレス(心電計記録紙) FQW210-10-295(5冊)	診断・造影用器材	心電計	心電図記録用紙
B02	ディスポキップローブ 成人用(0.8m) TL-271 T(24個)	診断・造影用器材	測定検査	SPO2プローブ
B03	コロハッドS 20×23mm 25枚/袋 21-135(40袋)	被覆材	血糖	絆創膏(小)
B03	カプレステープ 19mm×10m/白色(12巻)	被覆材	テープ	カプレステープ

大分類(カテゴリ)ごとに棚番が統一されている

## 2 | カテゴリ・引き出し内の配列の決定

### ミキシング室 引き出し内 配列

	採血スピッツ、分注ホルダー、翼状針 * 採血関連の検査用品
	検尿コップ、検尿用スピッツ
	ディスポ針、留置針、ポート針、エア針
	ディスポ注射器、インスリン専用注射器
	輸液ライン(自然、ポンプ)
	三方活栓、保護栓、延長チューブ
	特殊輸液ライン(輸血、ケモ用、小児用、造影剤用)
	血糖測定チップ、血糖測定針、看護師用インスリン針

上段

数や種類が多い小物

下段

大物で取り出しやすいもの

### 処置室 引き出し内 配列

	痰容器、培養スワブ、採便容器 * 採血関連以外の検査用品
	サージカルテープ、ドレッシング剤、絆創膏
	電極、SPO2プローブ、心電計記録紙
	酸素マスク、酸素延長チューブ、吸引カテテル、気管カニューレ、人工鼻
	栄養バッグ、栄養チューブ、栄養の付属品、フィーディングチューブ、ストマックチューブ
	ネラトン、ウロバッグ、留置カテテルセット、間欠導尿カテテル
	排液カップ、胆汁ドレナージバッグ

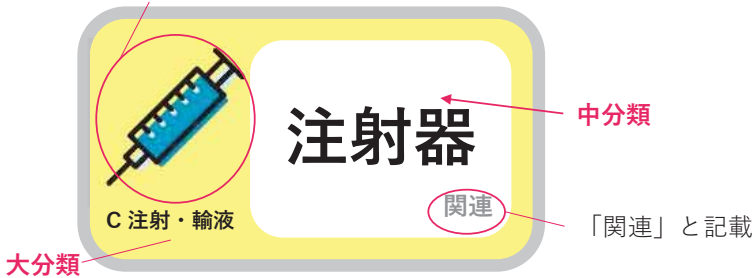
\* ラベル表示は看護師にとって分かりやすいものにした

### 3 | カテゴリの色分け・イラスト化

- 大分類(カテゴリ)で**色別化**
- 材料の**イラスト**を挿入した**表示カード**を作成

中分類をイラスト化

▼運用の様子



大分類	区分
中分類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内で、いくつもの種類（メーカー違い、用途別など）があり通称で明記</li> <li>・カードには、関連と記入</li> </ul>
小分類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内で1種類のみ、商品名（通称で表記） （サイズ、太さ、長さなどの規格は、種類としない）</li> <li>・専門性のある材料で、使用頻度が高い</li> </ul>

## 成果・効果

### 1 | 業務量の削減・減少

- 診療材料を探す時間の削減

検尿コップを探す時間	取り組み前	取り組み後
自部署看護師（7名）	17秒	<b>3秒</b>
他部署看護師（5名）	48秒	<b>5秒</b>

▶ 自部署看護師は**14秒**の短縮  
他部署看護師は**43秒**の短縮

- 中心静脈カテーテル(CV挿入)の準備時間の短縮

CV挿入の準備	取り組み前	取り組み後
自部署看護師	7分～10分	<b>3分～5分</b>

▶ 自部署看護師は**2～7分**の短縮

### 2 | 費用の削減

- 診療材料の定数を見直し

診療材料を適正に配置できるようになり、適正請求が可能となった

▶ 各病棟の**物品購入費用が削減**

採用されなくなった血糖測定器の付属品が定数配置されていた部署も…


例


- シリンジ数 80本/週 → **60本/週**
- プラスチック針150本/週 → **100本/週**

### 3 | 看護職の身体的・精神的負担の軽減

○診療材料を探す → 他のスタッフに聞く手間/ストレスの削減

- ▶ 新人看護師・部署異動してきた看護師にも分かりやすくなった
- ▶ イラスト表記により、言葉は話せるが、**文字の読めない他国の看護補助者の文字の壁をなくす**ことができた
- ▶ 材料を準備する導線の無駄がなくなった

 補充スタッフ間の指導も簡単に！

 日本語が読めない外国人スタッフでも容易に材料が探せるようになった

### 4 | 感染予防

○引き出しに触れる回数が激減した

- ▶ 以前は引き出しを何か所も開けて材料を探していた

### 5 | チーム連携の向上

○看護部と物品管理センターが協働し、役割分担が進んだ

看護部	物品管理センター
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物品管理センターから提案されたデータを業務の導線を考慮し検討、病棟間の違いを調整</li> <li>・ 診療材料を分類、色別カテゴリを決定</li> <li>・ 意識改善すべく、看護師スタッフへ始動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 材料の種類/定数/払出履歴をデータ化し、適正化を提案</li> <li>・ 診療材料の分担/色別カテゴリを提案</li> <li>・ 表記カードの作成</li> </ul>

### 6 | 診療材料の整理整頓

○棚に収まりきらなかった材料が全て収まった

定数見直し→空き場所が確保できたことで

○中心静脈カテーテル挿入の処置材料を1つの棚でセット化



例

○中心静脈カテーテル挿入セット

- ・ 滅菌手袋
- ・ 術衣
- ・ オイフ(覆布)
- ・ ガーゼ
- ・ 消毒綿棒
- ・ 縫合セット

◀以前は引き出しを7~8段開けて集めていたが、**3段に収納することができた**

## 1 | 色別カテゴリ表記のイラスト統一化

○より見やすく・わかりやすく

## 2 | 物品の定数管理にバーコード管理を導入

○管理時間の削減

### 導入のポイント

#### 1 | 意識改革・目的/目標の共有

##### ① チームを組成し、危機意識を高める

部署の管理者で取り組み推進チームを組織し、部署スタッフへの取り組み周知を進めて意識改革を図る

##### ② 適切なビジョンを示して周知徹底し、自発性の醸成と短期的な成果を生み出す

異動スタッフの多いCOVID-19受け入れ病棟から診療材料の表示・配置を標準化し、材料探しの時間を短縮  
変化に戸惑う現場から辛口の意見も出るが、試行錯誤を重ねながら、病棟間の材料配置の違いを可視化する  
ことで、各部署の看護師の表示・配置の標準化意識の醸成

##### ③ 変革の規模を拡大させ、根付かせる

班活動(副師長会・主任会)から委員会活動へ規模を拡大させ、病棟だけでなく外来にも変革を押し進める